

2024年6月8日

ヴァンフォーレ甲府～これまでの歩みと未来（概要）

A、クラブ概要とJリーグでの立ち位置

1965年「甲府クラブ」として創設

創設者の川手良萬氏が私財で年間2,000万円の運営費を負担、(1986年の逝去まで)

1997年「ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ」設立（Jリーグ加盟のため法人化）

Jリーグでは、資金的には小さな地方クラブ（J2中位）

B、存続の危機からの再建

1999年J2に参戦するも2年連続で最下位（26戦勝利なし、19連敗）

法人化4年で4億7000万の累積赤字→存続の危機（W杯を控えJリーグ困惑）

存続のための3条件決定（ハードルが高く、条件付きの解散勧告と見る人も）

山日YBS（筆頭株主）からの経営陣派遣→社長＝海野一幸、常務＝輿水順雄

存続条件クリア→翌年の存続が決まる

<再建への取り組み>

- ① マスコミの支援 ②スポンサーの獲得 ③経費削減 ④ボランティアの支援
- ⑤ 地域交流活動の展開 ⑥その他の地域支援

C、再建後の歩み

身の丈経営の徹底（絶対に赤字を出さない覚悟）

奇跡のJ1昇格（2005年入れ替え戦で柏レイソルに勝利）

J2で24戦無敗記録樹立とJ2初優勝（2012年）

天皇杯優勝（2022年）とACL参戦（2023年～2024年）

D、チーム運営

ゼネラルマネージャー（GM）職の導入→安定したチーム作りが可能となる

佐久間悟（現社長）2008年にGMに就任

資金規模の小さな地方クラブがJ2優勝、天皇杯優勝などを果たす

E、クラブの未来

総合球技場の新設 一番大きな課題（現スタジアムはJ1基準をクリアできない）

アカデミー強化 地域の盛り上がりには、地元出身選手が不可欠

海外交流 海外交流により新たな価値の創出、アジアからの選手獲得も

環境問題への取り組み SDG'sなど社会課題に積極的に取り組む

クラブの目指すもの Beyond Football Club